

2024年8月19日

各位

会社名 SBIグローバルアセットマネジメント株式会社
 (コード番号 4765)
 (上場取引所 東京証券取引所 プライム市場)
 代表者 代表取締役社長 朝倉 智也
 開示責任者 執行役員 CFO 小笠原 靖行

低コストの「SBI・iシェアーズ・インド株式インデックス・ファンド」の
 信託報酬の更なる引き下げについて

当社子会社のSBIアセットマネジメント株式会社が設定・運用する「SBI・iシェアーズ・インド株式インデックス・ファンド(愛称:サクっとインド株式)」(以下「本ファンド」)は、主要投資対象であるETF(上場投資信託)の運用管理費用の引き下げに伴い、実質的な総コストである信託報酬を引き下げますので、お知らせいたします。

本ファンドの主要投資対象であるiシェアーズ・コア SENSEX インディア ETF(香港取引所上場)(以下、「投資先ETF」)の運用管理費用は、これまで年0.40%となっていましたが、2024年8月19日に年0.25%への引き下げが発表され、8月20日から適用となります。

これに伴い、本ファンドの信託報酬と投資先ETFの運用管理費用をあわせた実質的な総コストである信託報酬は、これまでの年0.4638%(税込)程度から年0.3138%(税込)程度に低下することになります。本ファンドは、投資先ETFへの投資を通じて、BSE(ボンベイ証券取引所)の代表的な30銘柄で構成されるインドの代表的な株価指数「BSE SENSEX インデックス(配当込み、円換算ベース)」に連動する投資成果を目指すインデックスファンドで、BSE SENSEXに連動する公募ファンドの中で、既に最安の総コスト^{※1}となっていたが、今回の投資先ETFの運用管理費用の引下げにより、更に低下することになります。

本ファンドの実質的な負担(総コスト)

本ファンドの運用管理費用 (信託報酬(税込))	0.0638%		0.0638%
投資先ETF 運用管理費用	0.4000%	➡	0.2500%
実質的な負担(税込) (総コスト)	0.4638%		0.3138%

本ファンドは、インド株式のインデックスファンドとしては最速となる設定後196営業日で純資産が700億円を突破するなど、インド株式市場が上昇する中で、本ファンドの実質的なコストの安さも投資家の皆さまのご支援をいただいている要因の一つと考えております。今般の総コストの低下を通じて、一層投資家の皆さまの資産形成の一助になれることを願っております。

今後も「顧客中心主義」のもと、良質かつ低コストの運用商品を提供することで、投資家の皆さまの最適な資産形成に貢献してまいります。

以上

※1 ウェルズアドバイザー株式会社サイト(2024年8月19日掲載データ)より。